

『真^マっ直^スぐ前を見て』と子供の頃よく云われたものです。うしろ(過去)に囚^{トラ}われること無く、脇^{ワキ}見^{ヒカク}(比較)すること無く。まっすぐに前を(集中力)見て、確実に一歩ずつ。

優^{ユウ}越^{エツ}感^{カン}を持ちたければ下を見て、劣等感を持ちたければ上を見て。だが最^{サイ}後^ゴ(最^{サイ}期^ゴ)は自分と自分との闘^{ツツカ}いです。

『先の事を考えると寝れません』と仰^{オッシヤ}る方がいます。「考える」と「心配する」を取り違えているようです。考える事は良い事ですが、心配するは良くない事です。心配するとか気になるとかは感情です。感情(欲)が入ると正しい判断ができなくなります。また先の心配ばかりしていると今^{オロソ}が疎^{オロソ}かになり、手^{スキ}抜^{スキ}して生きている事になります。折^{セツ}角^{カク}生まれて来たのですから、くよくよせず、どんな辛^{ツツ}い事でも、時(時間)が来れば、(全て)終わるのです。